

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
色であそぼう ～クレパスや絵の具を使って～	中	つくる (美術)	小橋

<ねらい>

クレパスや絵の具を使って描く。
2色の色を混ぜ合わせて色を作る。
筆の動かし方、重ね塗りの順序など、説明をよく聞き、手順に沿って表現する。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

果物を描く（メロン、バナナ、ブドウ、リンゴ、オレンジ）

①なぞり描きをする。（クレパス）

メロン・・・編み目を線に沿ってなぞり描き

バナナ・・・房の上部の塗り分け

※細かいところまで意識して描けるよう、実物に近い大きな下書きを準備した。

②塗る（色を混ぜ合わせる、重ね塗り）

ブドウ・・・赤と青を混ぜる。一粒ずつ丁寧に塗る。

リンゴ・・・黄→赤に順に塗り重ねる。

オレンジ・・・赤と黄を混ぜる。

※黒板に水を付けた筆を使って、運指の見本を見せた。

③切り取る

※実態に合わせて、曲線または直線で果物の外の線に沿って切る。

※必要に応じて、切る線を書き加える。

④構成

5つの果物を1枚の画用紙に収まるように並べる。

※黒板に貼る。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

・下書きをクレパスで描くことで塗る部分を明確にした。絵の具を使う初回は、パレット（16色の固形絵の具付）を渡すと、たくさんの色に興味を示し、早速筆を手にとり、いろいろな色で描く様子が見られた。自分で2色の色を混ぜて色を作ったり、適した色を選んで塗ったりできるようになった。回を重ねるごとに、水の量を調整できるようになった。どの生徒も見本を見て意欲的に取り組めた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・パレット付き絵の具（100円）ダイソー
- ・筆、画用紙、色画用紙、はさみ、のり